

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0867
 住 所 川崎市川崎区扇町12番2号
 氏 名 ペットリファインテクノロジー株式会社
 代表取締役社長 石井 成 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ペットリファインテクノロジー株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町12番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	使用済みPETボトルを異物・色素を取除き、従来のPETボトル用樹脂と同等の品質を有する樹脂を製造。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	15,254	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	管理営業本部 総務・環境安全グループ
		所在地	川崎市川崎区扇町12番2号
		電話番号	044-355-9322
		FAX番号	044-355-9355
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 28,675 t-CO ₂ (調) 28,650 t-CO ₂	(実) 29,592 t-CO ₂ (調) 29,565 t-CO ₂	(実) 28,772 t-CO ₂ (調) 28,745 t-CO ₂	(実) 29,100 t-CO ₂ (調) 29,072 t-CO ₂	(実) 27,815 t-CO ₂
削減率		(実) -3.2 % (調) -3.2 %	(実) -0.3 % (調) -0.3 %	(実) -1.5 % (調) -1.5 %	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.385	1.455	1.441	1.379	1.344
削減率		-5.1 %	-4.0 %	0.5 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	温室効果ガスの排出量は基準年度に対し3.2%、生産量当たりの排出量原単位も5.1%増加し、年平均1%の削減目標を達成できませんでした。
第2年度	温室効果ガスの排出量は基準年度に対し0.3%、生産量当たりの排出量原単位も4.0%増加し、年平均1%の削減目標を達成できませんでした。
第3年度	温室効果ガスの排出量は基準年度に対し1.5%の増加、生産量当たりの排出原単位は0.5%削減、年平均1%の削減目標の半分の削減に留まった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

2018年度に2012年度比で温室効果ガスを6%削減する目標に対し今年度も、寄与できる結果には及ばなかった。これは、単品種生産から複数品種生産に移行後も試作の増加、設備上のトラブルもあり、生産数量が思いのほか増えなかった。又、設備の増加に伴う全体のエネルギー消費量の増加も要因である。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	(1) 設備の改善 設備の改造は生産効率向上し、生産量を活動量としたCO2原単位の削減を重点に考え、設備の改善を実施する。 (2) 事務所等の空気調和の管理 事務室内におけるエアコンの温度を冷房は28度、暖房は20度に設定する。 (3) 照明設備の運用管理
	第1年度	(1) CO2原単位の削減に寄与する設備の改善：サーモグラフィーを使用している機器及び配管の断熱材補修の継続。 (2) 事務所等の空気調和の管理：温度管理（夏28℃、冬20℃）の徹底及びブラインド利用の継続。 (3) 照明設備の運用管理：LED導入優先、照明不使用フロア器具撤去継続。
	第2年度	(1) CO2原単位の削減に寄与する設備の改善：蒸気設備 スチームトラップの更新継続。安全弁、減圧弁漏れチェック点検方法改善、定常作業化。 (2) 事務所等の空気調和の管理：温度管理（夏28℃、冬20℃）の徹底及びブラインド利用の継続。 (3) 照明設備の運用管理：LED導入優先、照明不使用フロア器具撤去継続。
	第3年度	(1) CO2原単位の削減に寄与する設備の改善：サーモグラフィーを使用している機器及び配管の断熱材補修の継続。蒸気設備 スチームトラップの更新継続。安全弁、減圧弁漏れチェック点検方法改善、定常作業化。 (2) 事務所等の空気調和の管理：温度管理（夏28℃、冬20℃）の徹底及びブラインド利用の継続。 (3) 照明設備の運用管理：LED導入優先、照明不使用フロア器具撤去継続。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> (1) グリーン購入の推進。 (2) 廃棄物の減量化・分別化の推進。 (3) 敷地面積の25%の緑地確保。 (4) 配送の効率化。 (5) 従業員の通勤に公共機関の利用の促進（通勤における温室効果ガス排出量の削減）。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> (1) 事務用品についてはグリーン購入の実施。 (2) 廃棄物排出量は工程の見直し等により前年度に対し7.7%削減。 (3) 敷地面積の25%の緑地確保。 (4) 復路空車の利用及び20tコンテナ車利用の実施。 (5) 従業員の通勤に公共機関の利用の促進。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> (1) 事務用品についてはグリーン購入の実施。 (2) 廃棄物排出量は工程の見直し等により前年度に対し7.7%削減。 (3) 敷地面積の25%の緑地確保。 (4) 復路空車の利用及び20tコンテナ車利用の実施。 (5) 従業員の通勤に公共機関の利用の促進。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> (1) 事務用品についてはグリーン購入の実施。 (2) 廃棄物排出量は工程の見直し等にも関わらず前年度に対し1%増加。 (3) 敷地面積の25%の緑地確保。 (4) 復路空車の利用及び20tコンテナ車利用の実施。 (5) 従業員の通勤に公共機関の利用の促進。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	30,218	t-CO ₂
(調)	29,973	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ベトリファイテクノロジー株式会社	川崎市川崎区扇町12番2号	1851	再生PET樹脂製造	30,218 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--